令和２年度　学校教育充実計画

播磨町立播磨小学校

１　学校教育目標

「知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

２　基本方針

「学び　認め合える　子どもたちに」

３　めざす子ども像

(1) 意欲的に学ぶ子
- 基礎・基本を身につけ、自ら学ぼうとする子
- 自分の考えや思いを表現できる子
- 意見を交流させ、学びを深める子

(2) 思いやりのある子
- 自分の良さに気づき、伸ばそうとする子
- お互いの違いや良さを認め合える子
- あいさつなどのコミュニケーションをすすんでできる子

(3) 元気よくやりぬく子
- 命を大切にし、健康・安全にすごせる子
- 基礎的な体力を身につける子
- 規則正しく生活できる子
- 最後までやりぬく子

４　学校の取組

(1)子どもたち一人一人が自ら学べる学習環境づくり

○ユニバーサルデザインの視点を採り入れ、わかりやすく落ち着いた教室環境を整える。

○子どもたちの実態を把握し、つまずきの解消をめざした授業研究を推進する。

○ＩＣＴ機器、デジタルコンテンツを活用した「わかる授業」づくりを行うとともに、プログラミング学習をとおして、論理的な思考を培う。

○朝の学習時間を活用して、学習の基礎基本の定着を図る。

○「ことばの力」を高める活動を取り入れ、伝え合い学び合える場の充実を図る。

(2)協働による温かい人間関係づくり

○自分を大切にするとともに、友だちを自分と同じように尊重できる心を育む。

○自尊感情を高め、必要とされる自分を意識し、社会の中で活躍しようとする態度を育てる。

○自分や友だちとの「対話」による道徳科の授業を推進し、自分の生き方についての考えを深める。

○多様な価値観を理解し、多様性を認め合える教育を推進する。

(3)特別支援教育の充実

○一人一人の実態を把握し、教育的ニーズに応じた適切な支援を行う。

○インクルーシブ教育システムを構築し、障害の有無にかかわらず、ともに学べる教育環境づくりに取り組む。

○家庭・医療・福祉等との連携を図り、切れ目のない支援体制を充実する。

○個別の指導計画及び個別の教育支援計画を活用するとともに、校内委員会等で見直し、実践する。

(4) 健康維持と体力向上

○食育に取り組み、望ましい食生活を身に付け、自己管理能力の育成を図る。

○業間・昼休みにおける外遊びを推進し、楽しみながら基礎的体力を身につける。

○スポーツテスト・なわとび検定による自己目標を設定し、自ら進んで運動に取り組む環境を整える。

(5) 安心・安全な学校づくり

○安全教育を推進し、健康で安全な生活を送るための基礎を培う。

○交通安全教室、防災訓練等を実施し、自ら命を守り抜くため主体的に行動する態度を育てる。

○SNS やネットでのトラブルに巻き込まれないよう、情報モラルを身に付ける。

(6)教職員の資質向上と協働体制づくり

○授業公開を行い、相互に研究を深め、授業力の向上を図る。

○校外研修を活用するとともに、計画的に校内研修を実施することで、教員の指導力の向上を図る。

○教職員が心身ともに健康で、子どもと向き合う時間を確保できるよう、心の通い合う学校づくりを推進する。

(7)家庭・地域から信頼される学校

○学校からの情報提供、メディアコントロールなどの連携を行い、望ましい生活・学習習慣づくりを推進する。

○子どもたちを地域ぐるみで支援する「サポートチーム播磨」の活用を推進する。

○ＰＴＡ行事や町行事への教職員の参加

○教育委員会を含む行政、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーや警察、福祉・医療関係機関との連携を強化する。

５　今年度の重点実践項目

○算数科の授業実践を通して主体的に探求する子の育成をめざす。

○教職員研修を充実し、指導力と授業力を高める。

○家庭・地域・関係機関との連携を深め、組織としての危機管理能力の向上に努める。

播磨小学校は、本年度開校148 周年を迎える歴史と伝統のある学校です。
播磨小のシンボルは、運動場の「くすのき」です。